

よりよい守山の図書館づくりのための
図書館アンケート第2回報告書

平成 20 年度

守山市立図書館

目次

1	回収率及び利用者の分析.....	3
(1)	回収率.....	3
(2)	男女比.....	3
(3)	回答者年齢別構成比.....	4
(4)	利用者の学区別利用者とその比率.....	5
(5)	図書館までの所要時間および交通手段.....	6
(6)	市別の回答者数の年度比較.....	7
2	図書館の利用頻度・利用方法.....	8
(1)	図書館の利用頻度の年度比較.....	8
(2)	図書館の利用頻度の年齢別比較.....	9
3	図書館の利用方法.....	9
3	図書館の利用方法.....	10
(1)	利用方法の年度比較.....	10
(2)	利用方法の年齢別比較.....	11
4	図書館の満足度.....	12
(1)	年度間比較.....	12
①	本・雑誌の数.....	12
②	本の提供の早さ.....	12
③	職員の対応.....	12
④	居心地のよさ.....	13
⑤	開館時間.....	13
(2)	年齢別満足度比較.....	14
①	本・雑誌の数.....	14
②	本の提供の早さ.....	14
③	職員の対応.....	15
④	居心地のよさ.....	15
⑤	開館時間について.....	15
5	守山市立図書館のホームページ（HP）と検索システムについて.....	16
(1)	守山市立図書館のHPを知っているか.....	16
(2)	図書館HPの図書検索システムの利用について.....	17
6	普段のインターネットの利用について（図書館外）.....	18
7	中学生や高校生向けの読み物やその他の本を集めた棚を利用するか。.....	20
8	ご意見・ご要望の種類（自由記入欄より）.....	20

1 回収率及び利用者の分析

(1) 回収率

本年度は図書館以外に各公民館、市役所、すこやかセンター、駅前総合案内所、市民サービスセンター、ほほえみセンターへ用紙を設置した。

実施期間は平成 20 年 8 月 1 日から 8 月 31 日までである。

年度	配布枚数	回収枚数	回収率
H20	2600	800	31%
H18	850	556	65.1%

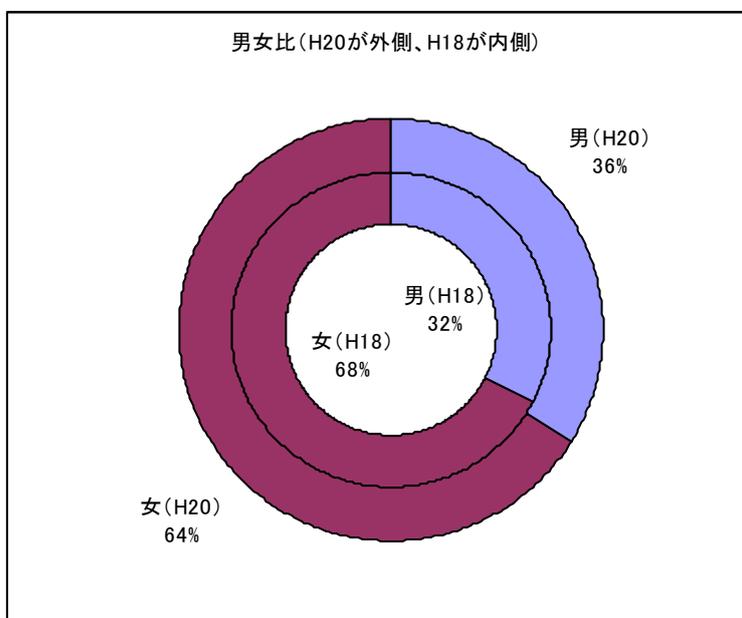
表 1 アンケート用紙回収結果

(2) 男女比

男	269 人
女	528 人

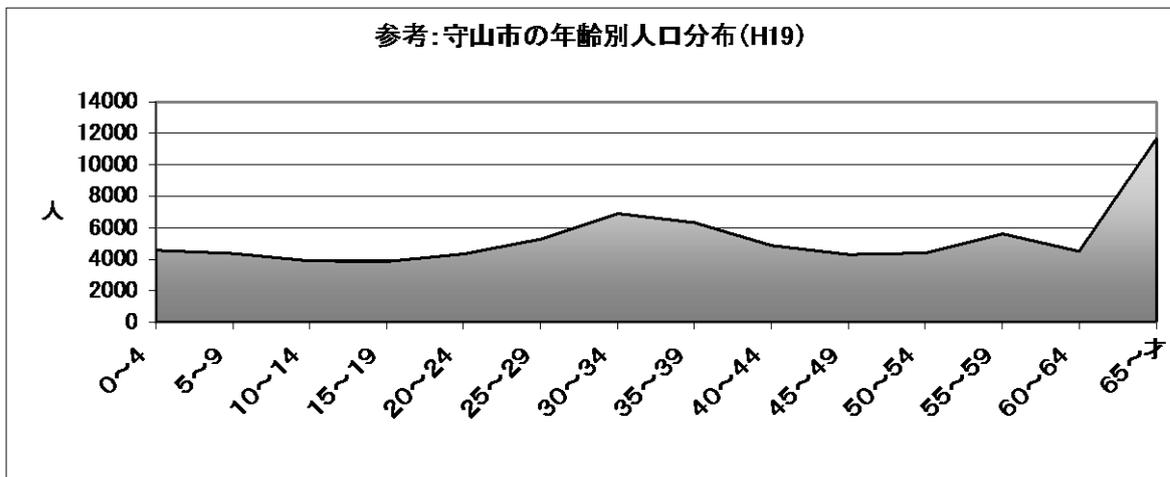
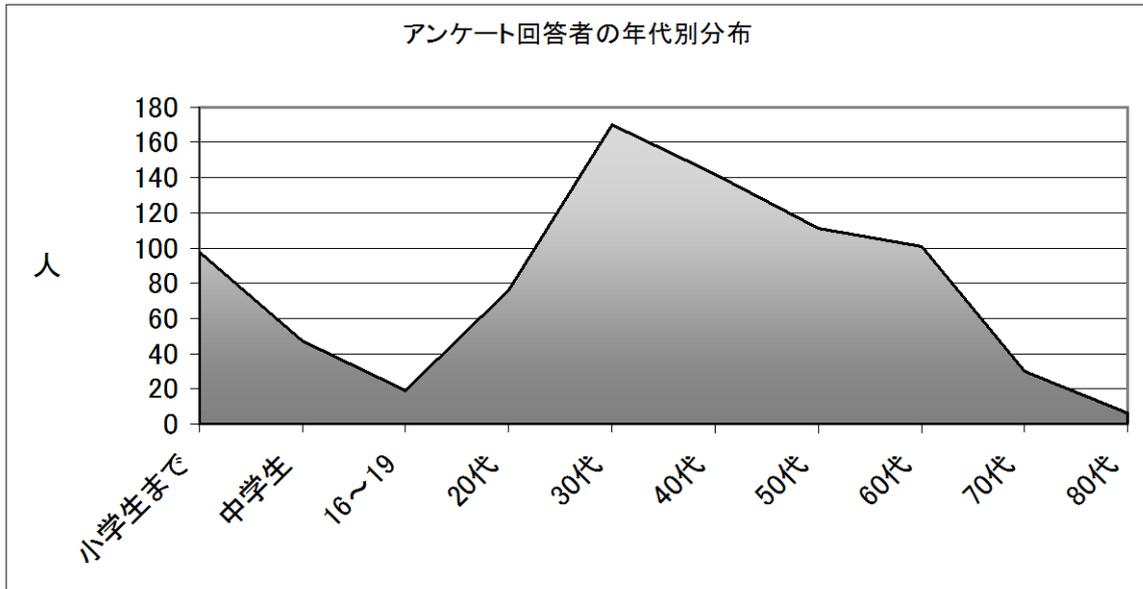
表 2

回答者の性別人数 (H20)



(3) 回答者年齢別構成比

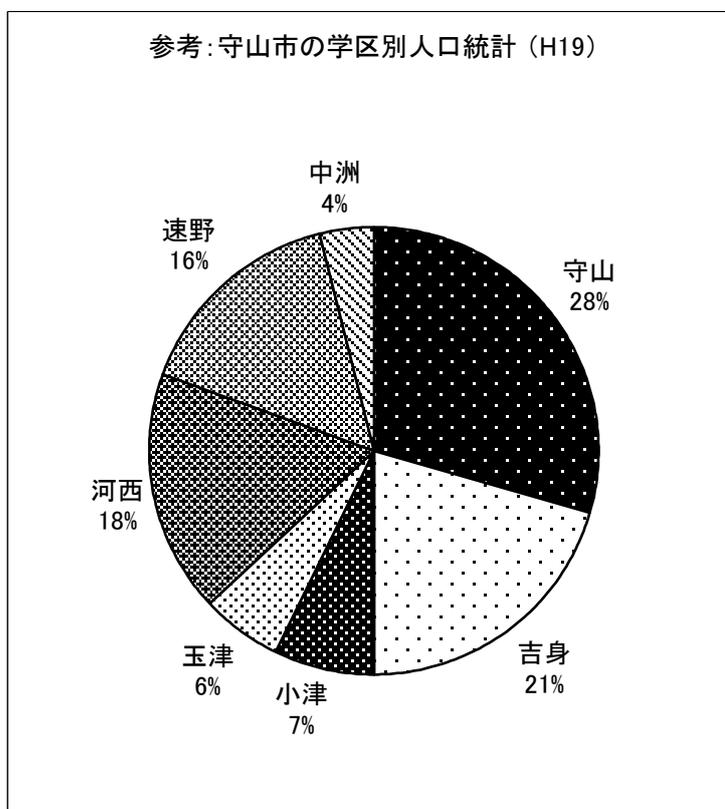
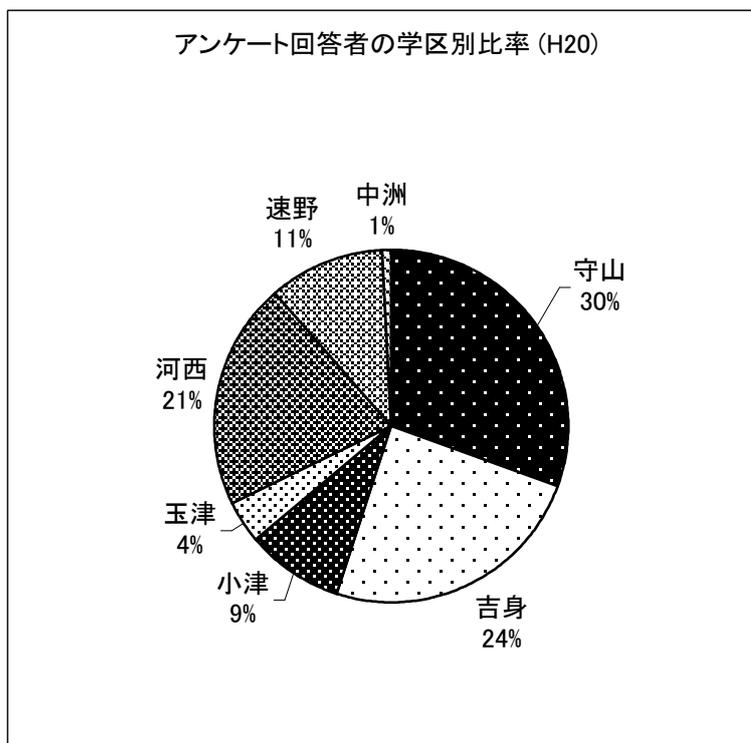
区分	小学生	中学生	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～
人数 (人)	98	47	19	76	170	142	111	101	30	6



(4) 利用者の学区別利用者とその比率

学区	人数 (人)
守山	216
吉身	174
小津	63
玉津	27
河西	147
速野	75
中洲	6

表 4 学区別利用者数



(5) 図書館までの所要時間および交通手段

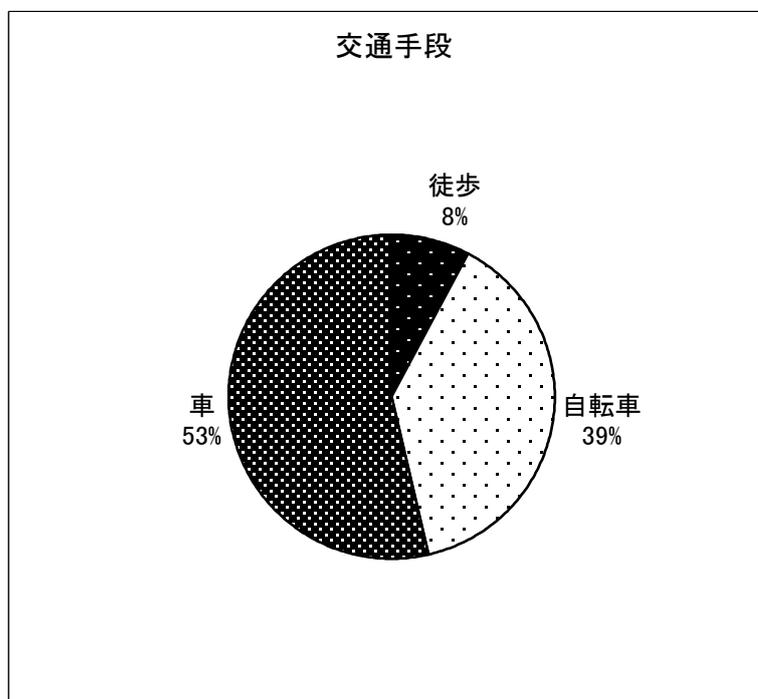
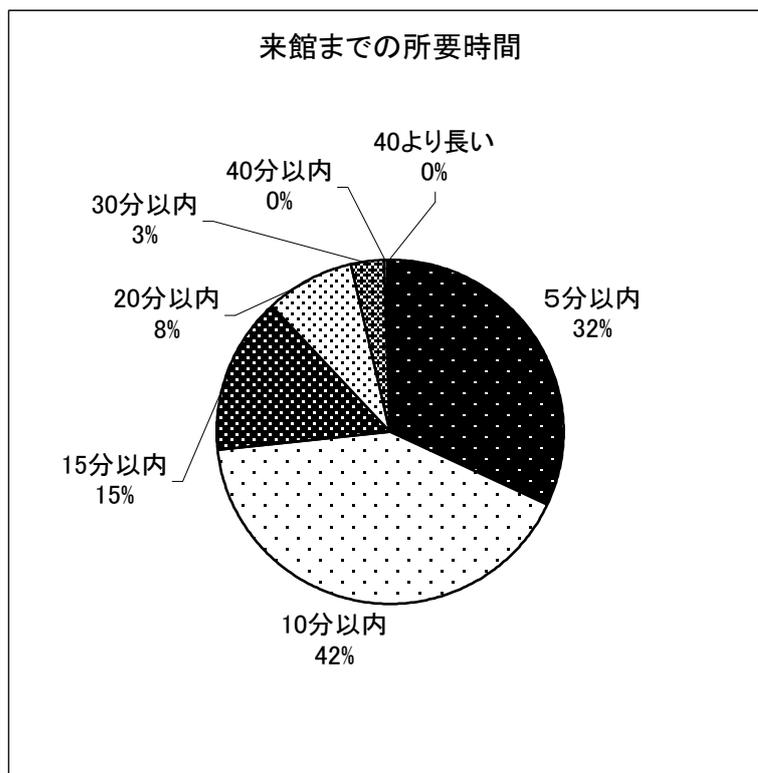
このグラフから見ると、15分以内で来館できる層は合わせて74%に上ることが分かる。また、20分以内で来館できる層をあわせると97%と、ほとんど20分以内で来館できる人の利用となっている。

下段の交通手段からは自動車による来館が半数以上を占めるものの、自転車での来館も39%とかなり多いことが分かった。これは18年度のアンケートでは行わなかった項目である。

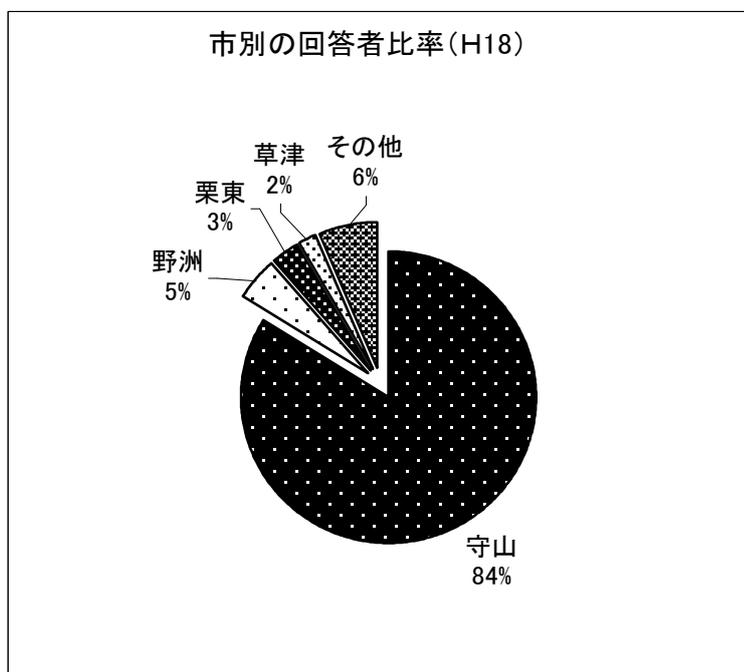
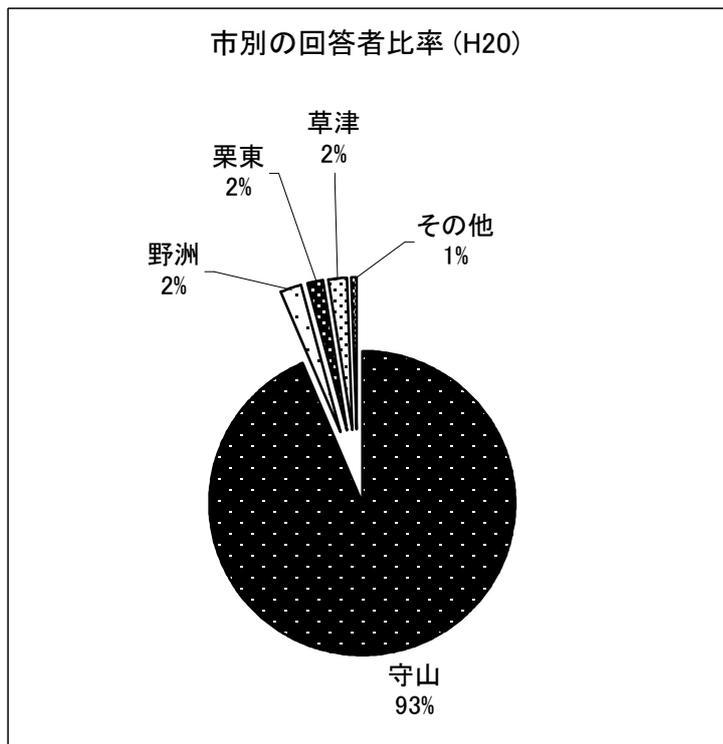
中学生などは20分から40分もかけて自転車で来館する利用者が散見されたが、その他の年齢層ではあまり見られなかった。

また、小学生までの層は交通手段を自動車と書いたものが多く見られた。また、保護者の送迎が小学生もなされている様子が見られた。

距離的に不利である中洲地域であるが、小学生については中洲小学校に月一度の配本により貸出を行っているが、中学生・高校生は交通手段が自転車と考えられるため、来館には大きな支障となっていると考えられる。



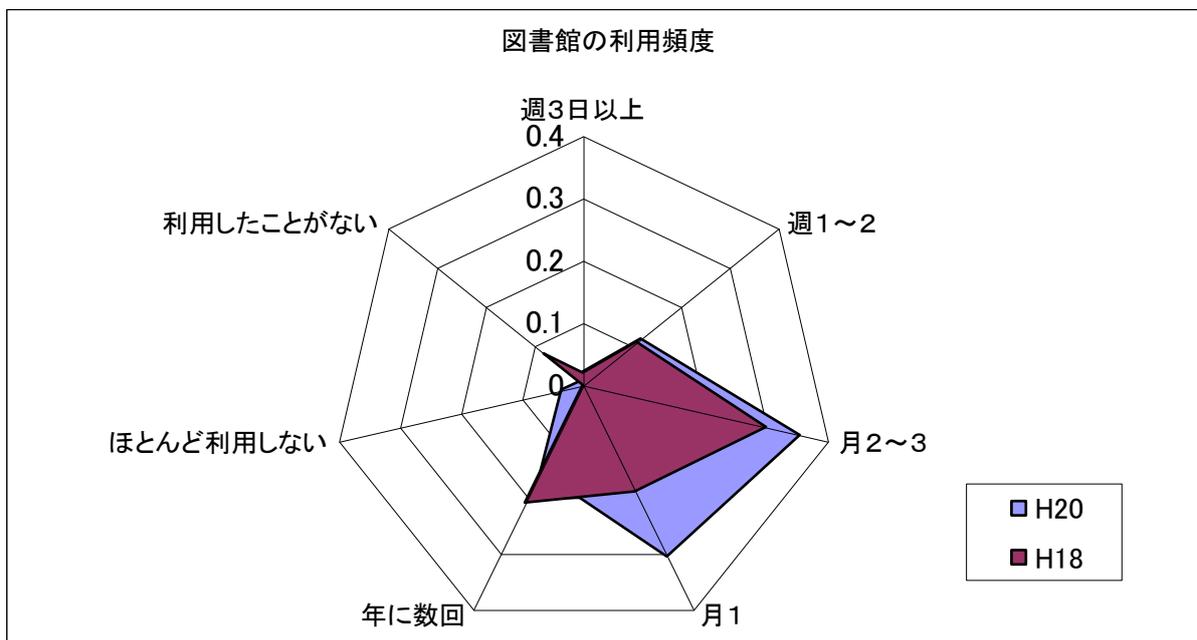
(6) 市別の回答者数の年度比較



※守山市民の利用者の比率が上がっている要因として、前回のH18年度は11月20日から12月20日とアンケート実施機関が異なっていたこと、市外からの通学者が多い高校の協力でまとめて回答を得られたことなどが考えられる。

2 図書館の利用頻度・利用方法

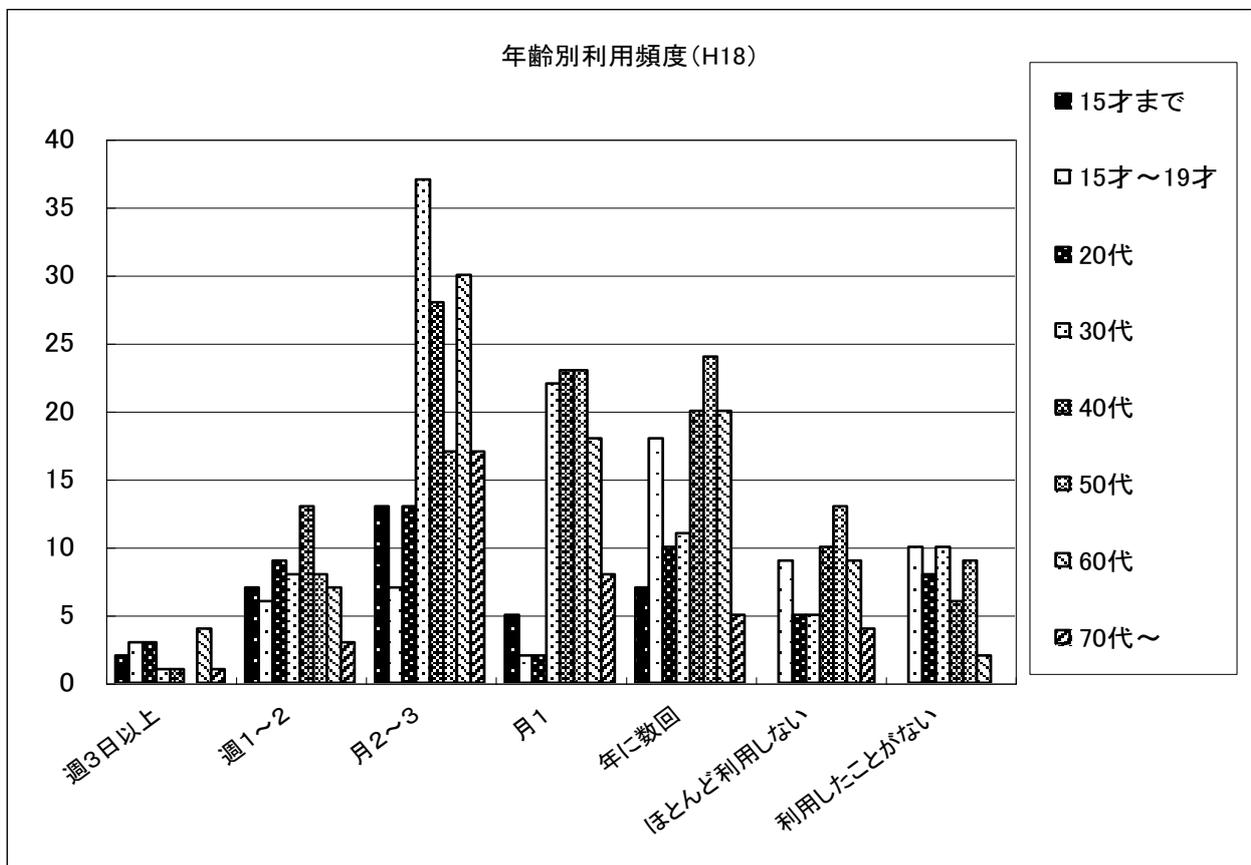
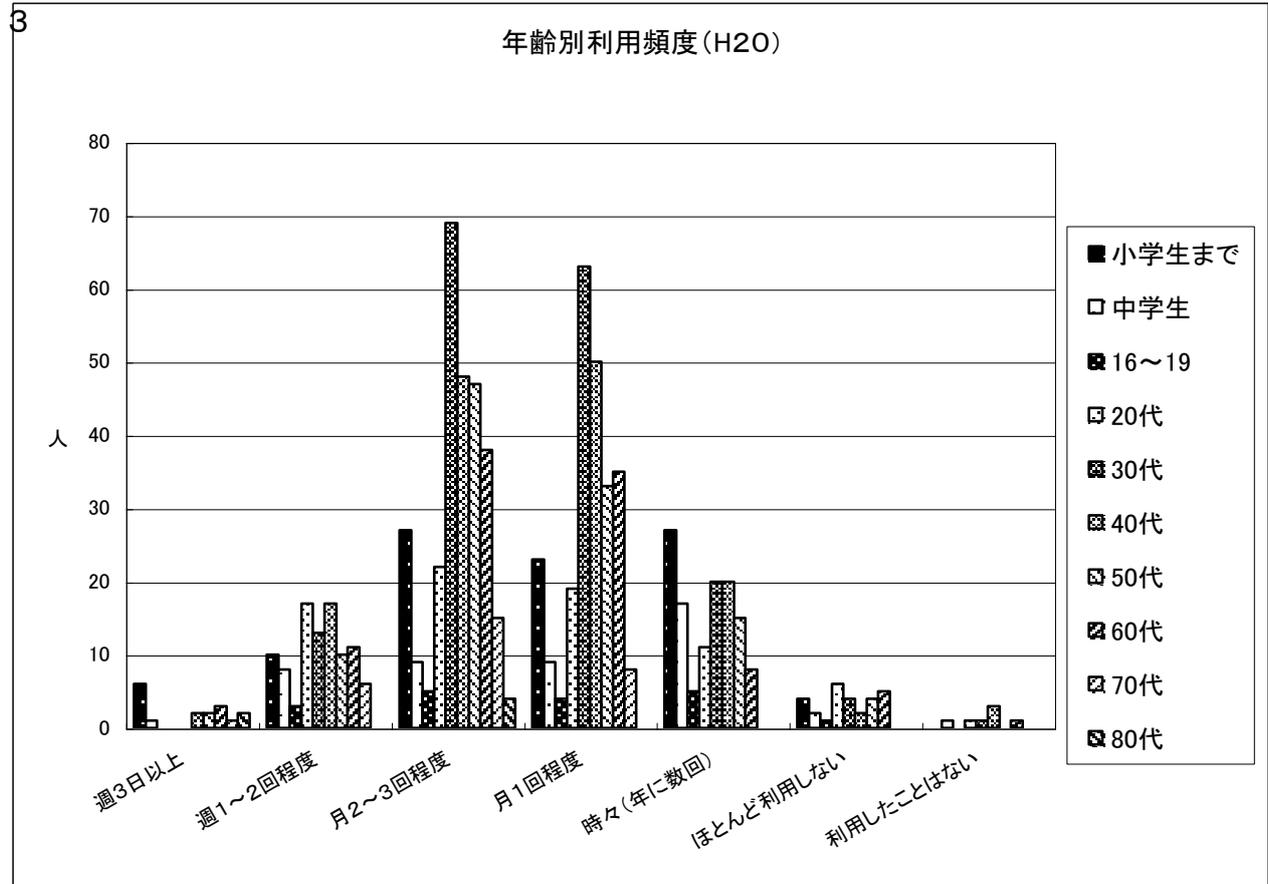
(1) 図書館の利用頻度の年度比較



項目	H18	H19	前年比
貸出冊数(冊)	492,114	509,907	103.6%
実利用者数(人)	16,067	16,092	100.2%

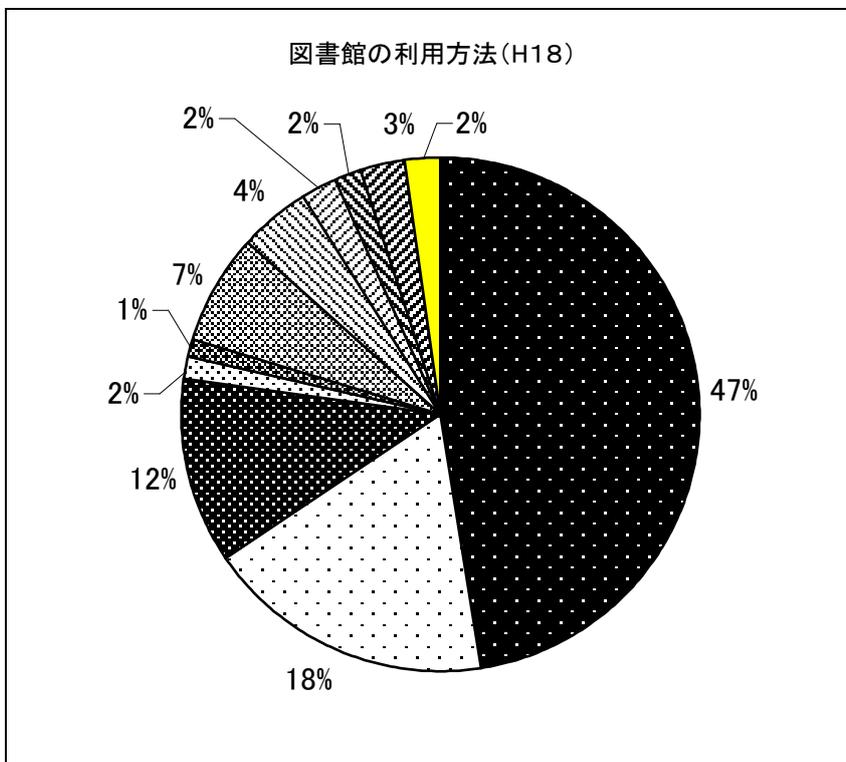
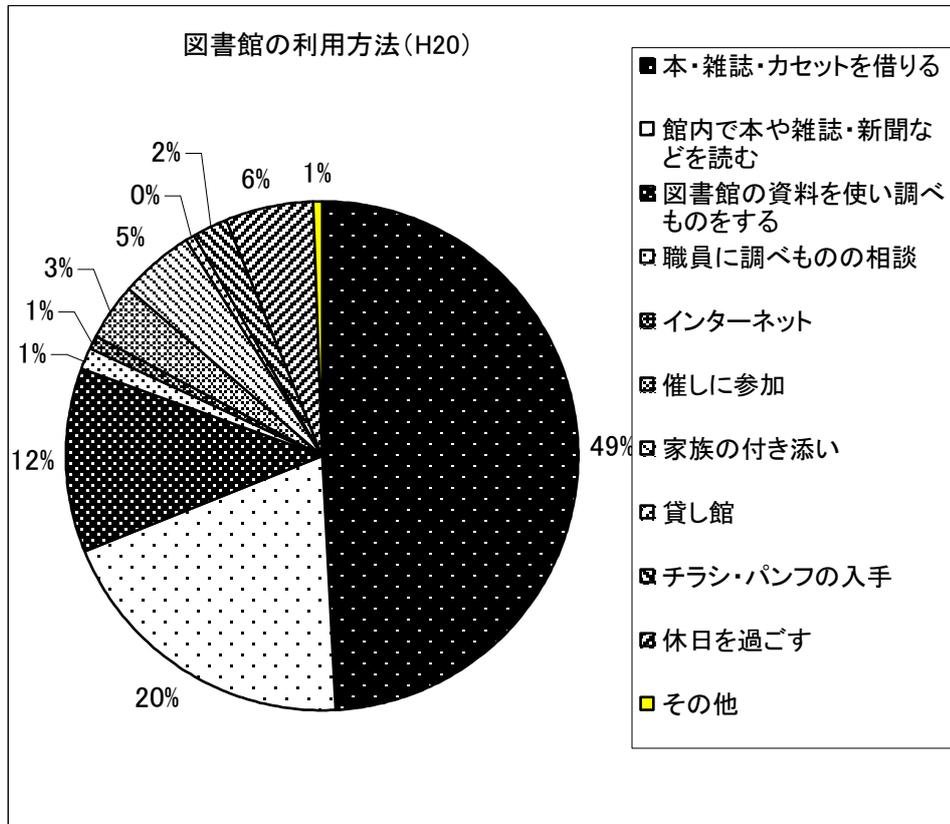
表5 貸出冊数実績
(草蜚第29号25ページの「実績と効果」より抜粋)

(2) 図書館の利用頻度の年齢別比較



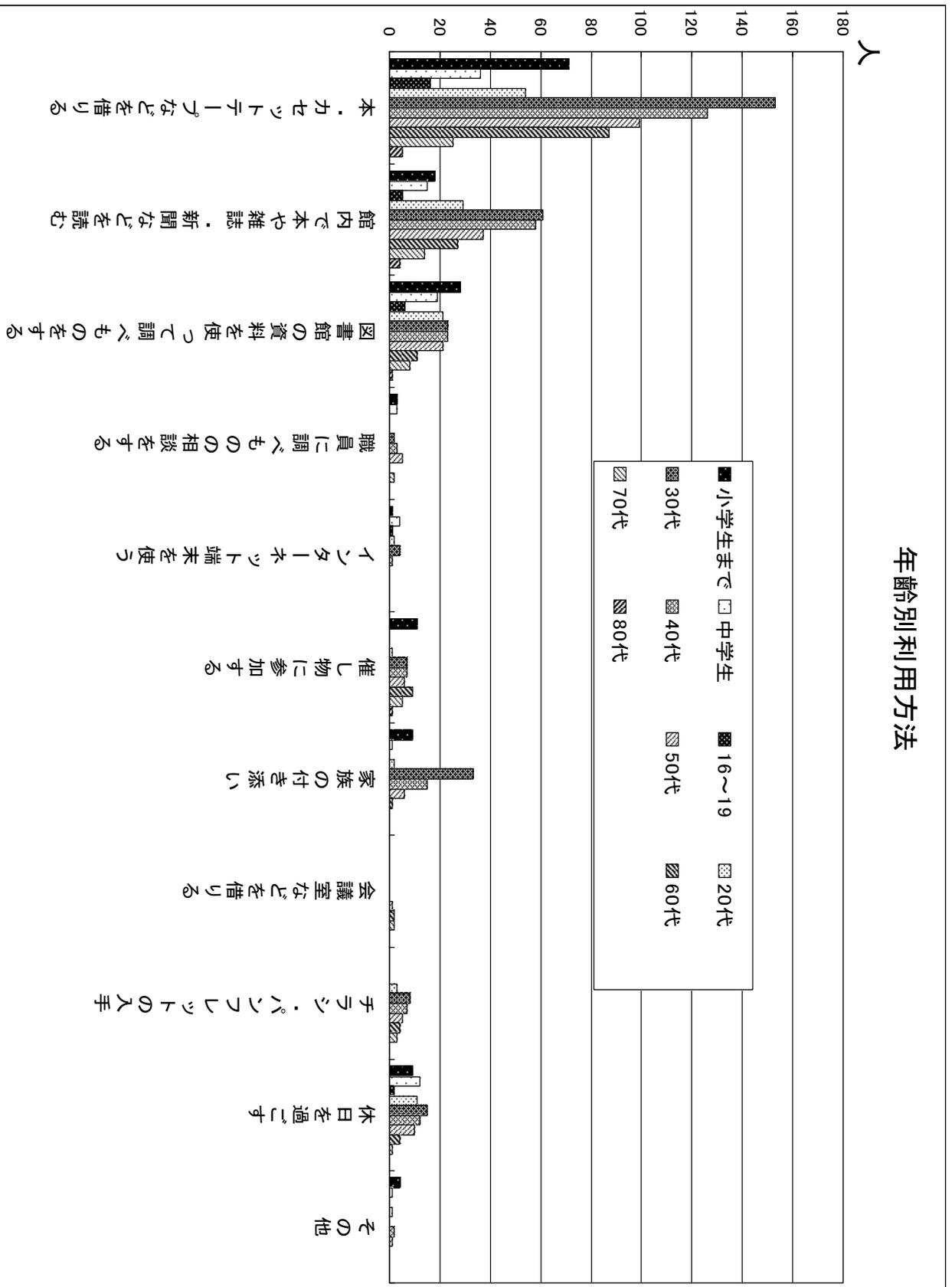
図書館の利用方法

(1) 利用方法の年度比較



※ H18年度の凡例はH20年度と共通

年齢別利用方法

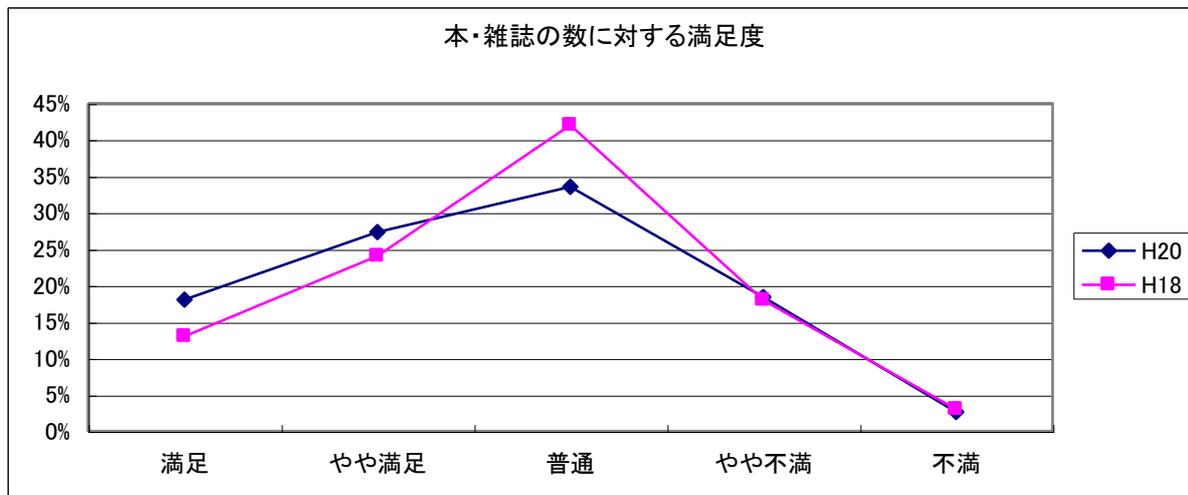


(2) 利用方法の年齢別比較

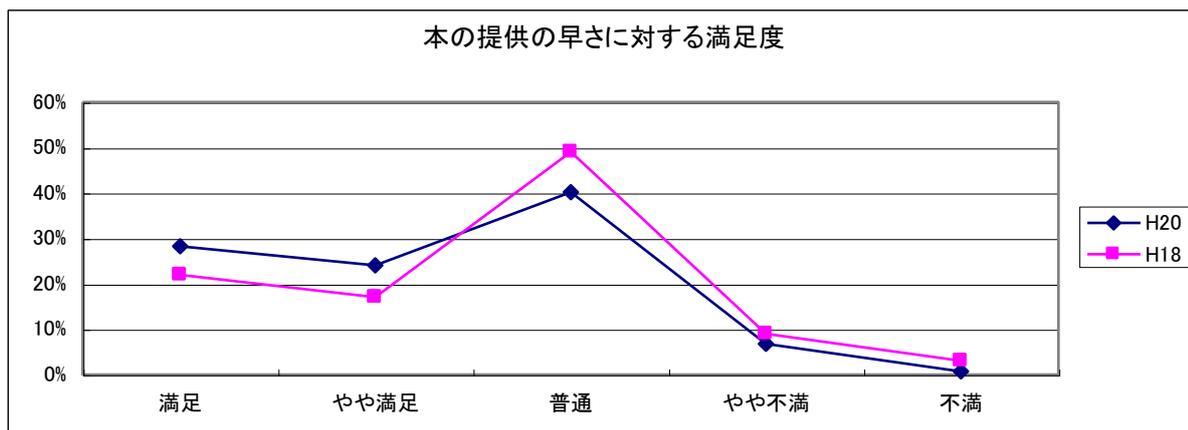
4 図書館の満足度

(1) 年度間比較

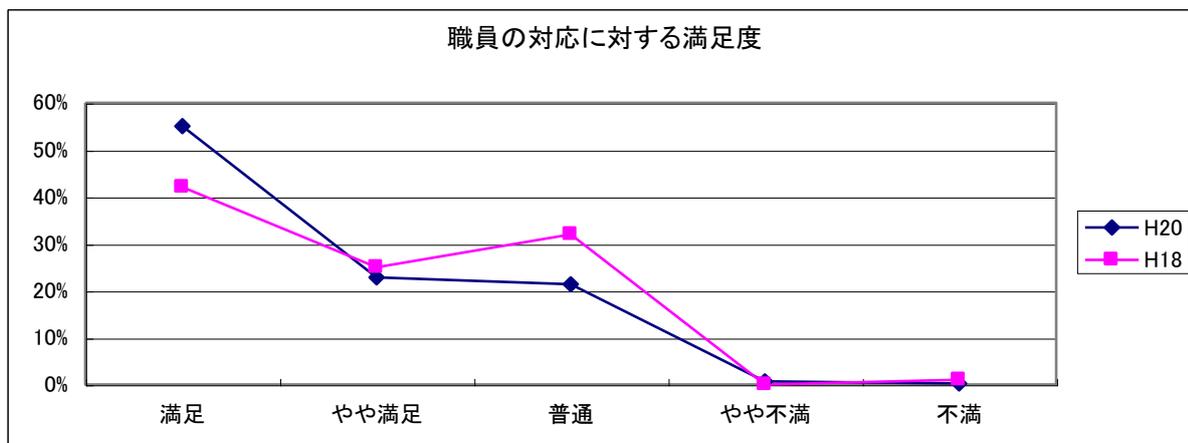
① 本・雑誌の数



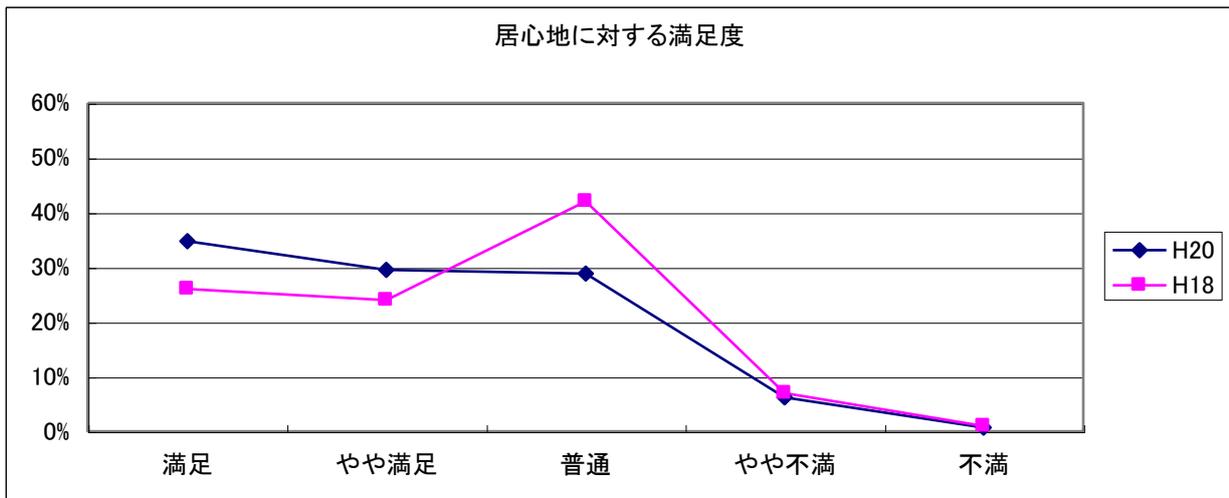
② 本の提供の早さ



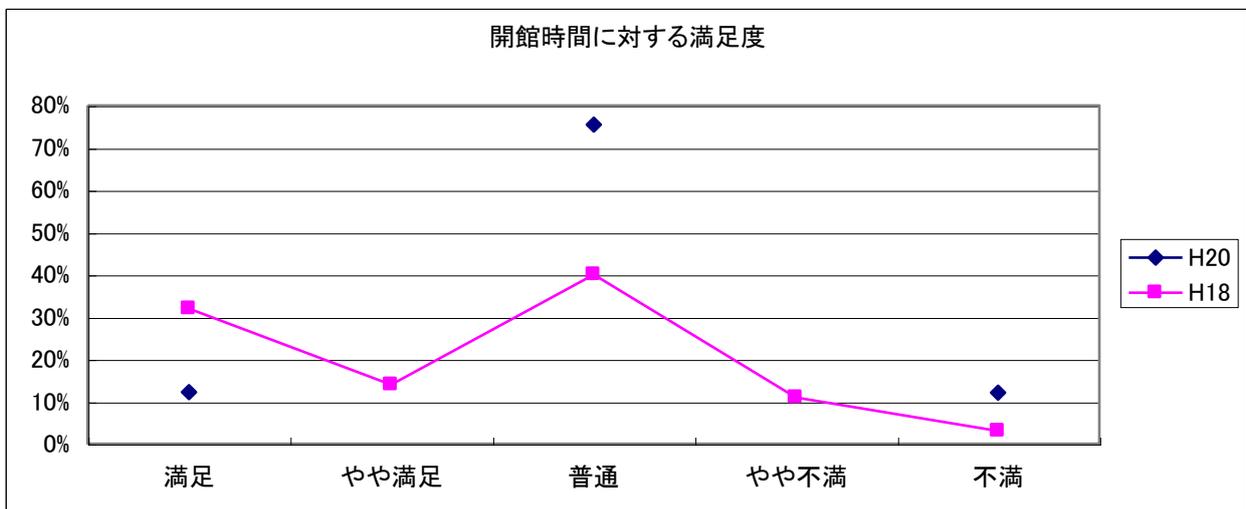
③ 職員の対応



④ 居心地のよさ



⑤ 開館時間

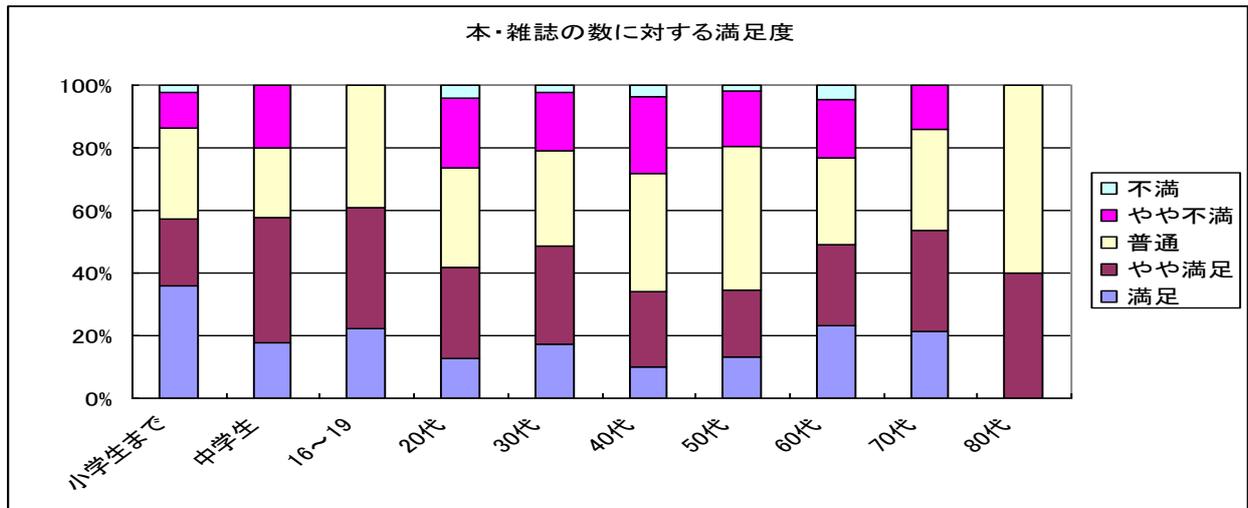


※⑤の開館時間に関しては、H20年度の回答の選択肢に「やや満足」「やや不満」の項目を設けていなかったため、上記のようなグラフになった。

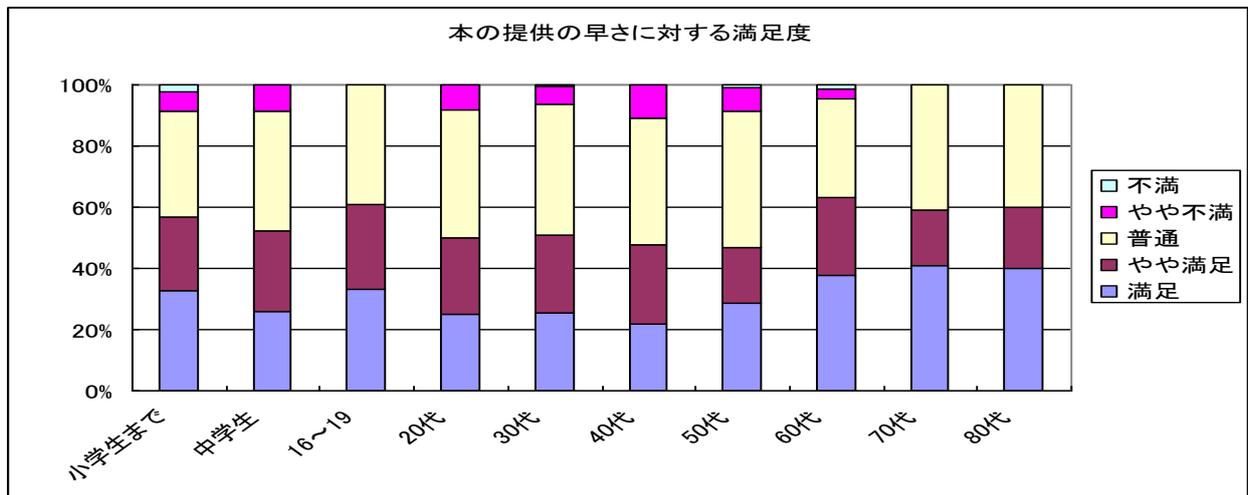
全般的に見て(1)から(4)のグラフは満足・やや満足の左側に移動しており、満足度が高まったことが伺える。(5)に関しては、H18年度と選択肢を変えたため、比べることは難しいが、周辺の他の図書館の開館時間がよく似た開館時間のため、満足でも不満でもない人が多くなったように思われる。また、平日午後8時まで開館するようになってから5年が経過し、2年前よりは利用者に浸透してきたため普通が多くなっていると考えられる。

(2) 年齢別満足度比較

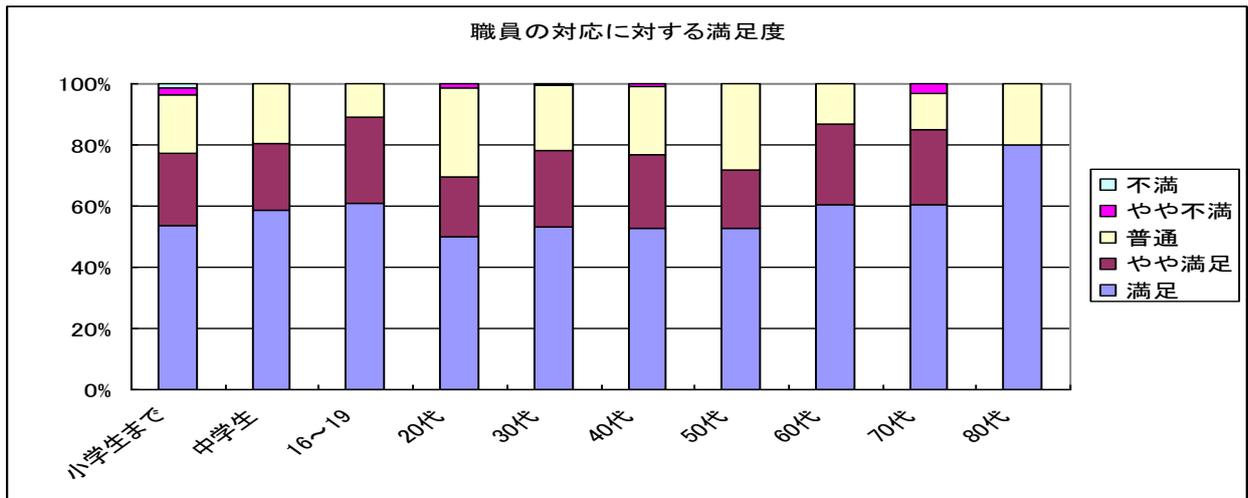
① 本・雑誌の数



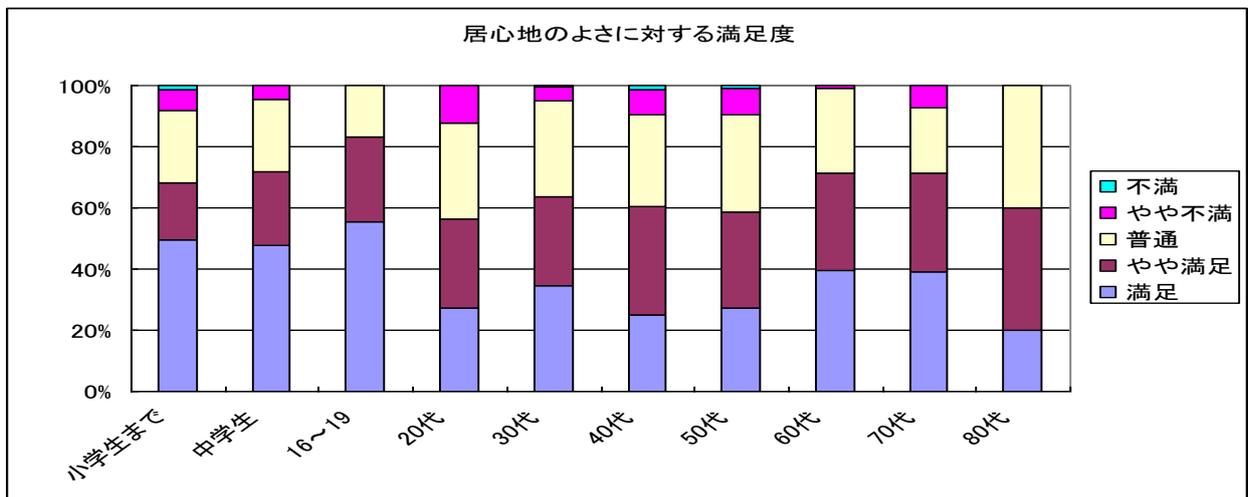
② 本の提供の早さ



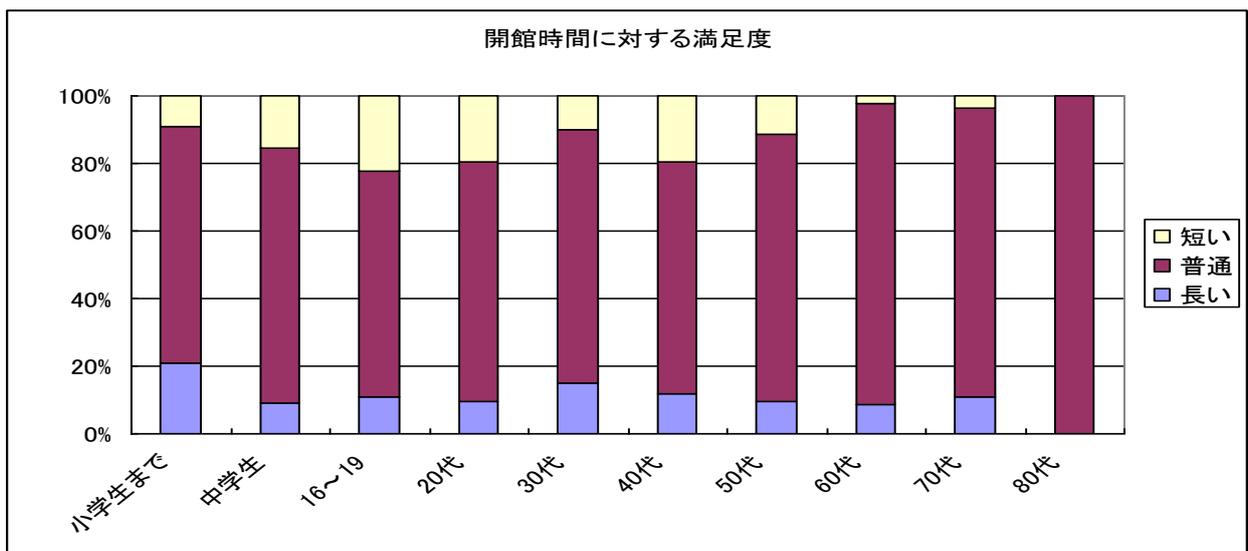
③ 職員の対応



④ 居心地のよさ

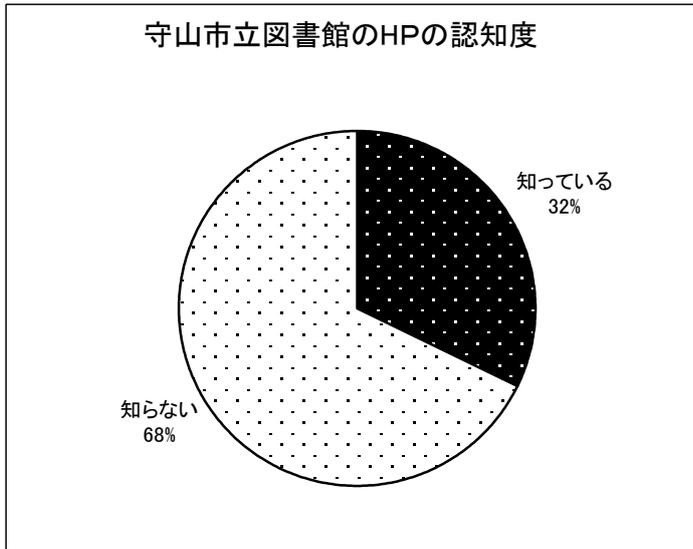


⑤ 開館時間について



5 守山市立図書館のホームページ（HP）と検索システムについて

(1) 守山市立図書館の HP を知っているか



参考：守山市立図書館蔵書検索ページ(図書館HP内)

アドレス…http://library.city.moriyama.shiga.jp/search/jlw_cond01.asp

資料をさがす

探したい資料 図書 雑誌

書名

著者名

出版者

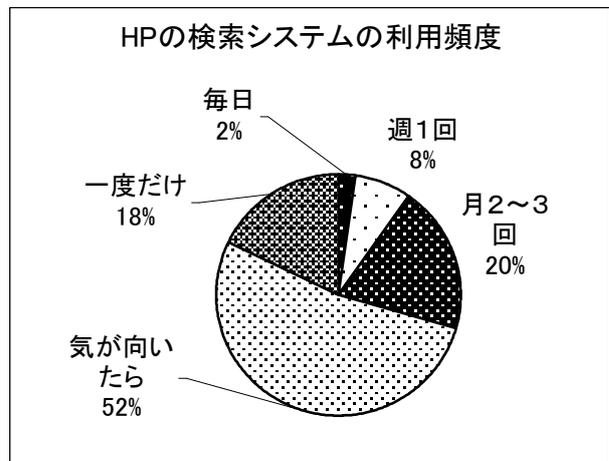
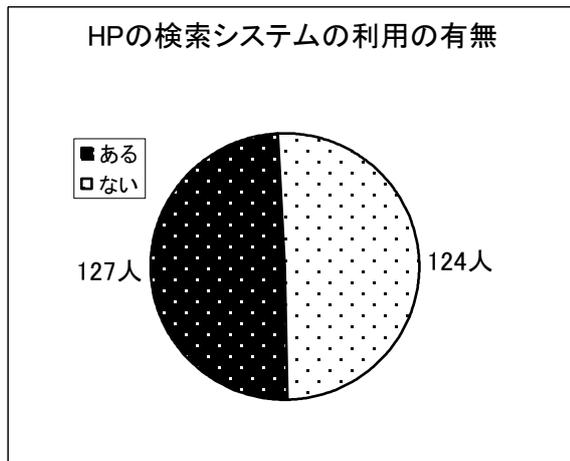
分類

出版年（半角） 年 ~ 年

ISBN(単独検索項目、半角)

(2) 図書館 HP の図書検索システムの利用について

※(1)で「知っている」と答えた方への質問



	毎日	週1回	月2・3回	気が向いたら	一度だけ	計
小学生まで	3	3	2	6	3	17
中学生	1	1	3	5	7	17
16~19	0	0	2	5	1	8
20代	0	3	6	18	7	34
30代	0	4	8	32	8	52
40代	0	3	8	28	10	49
50代	1	3	9	19	4	36
60代	0	0	8	9	2	19
70代	0	1	1	3	0	5
80代	0	0	0	0	0	0
計	5	18	47	125	42	237

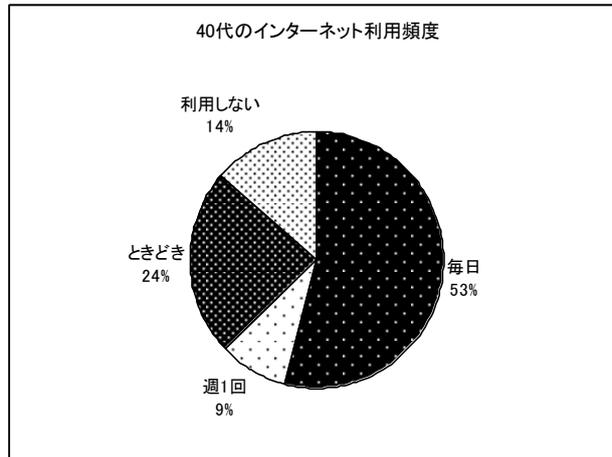
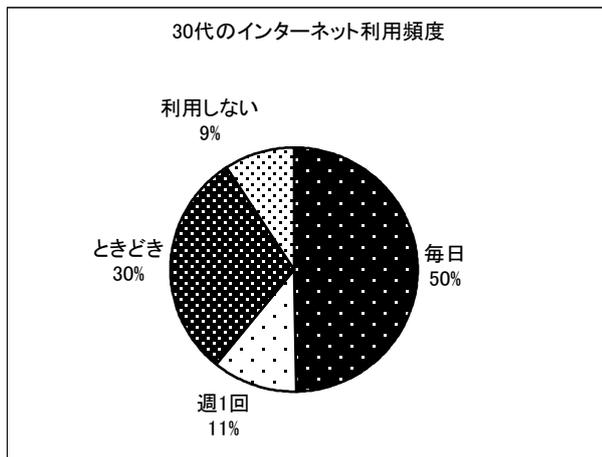
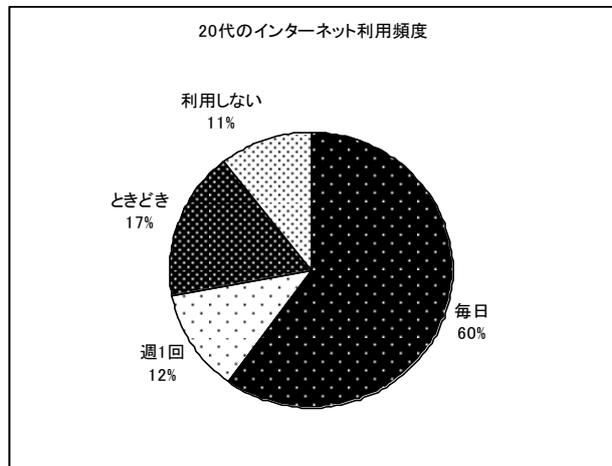
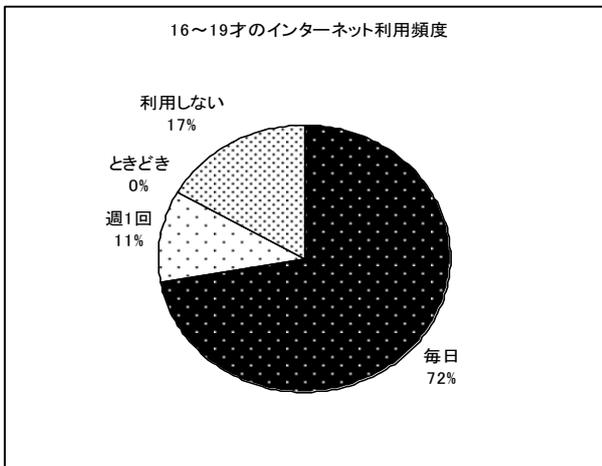
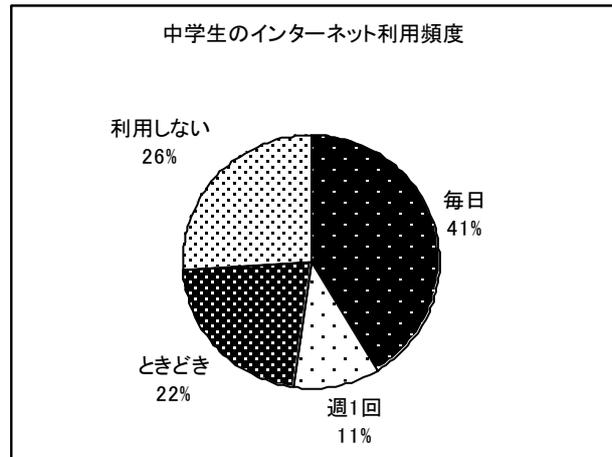
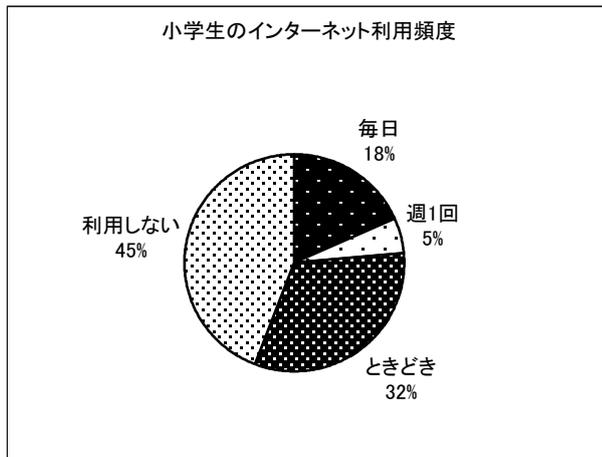
表6 検索システムの年代別利用状況

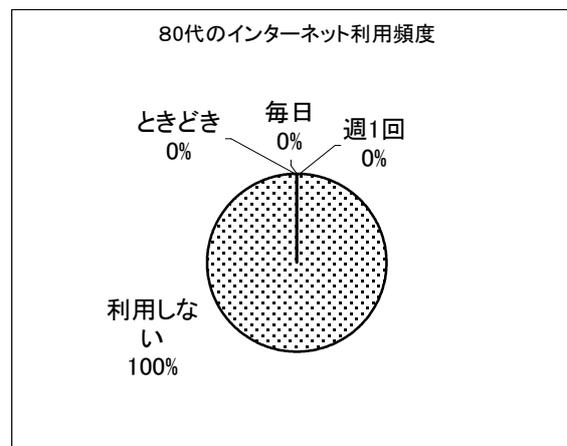
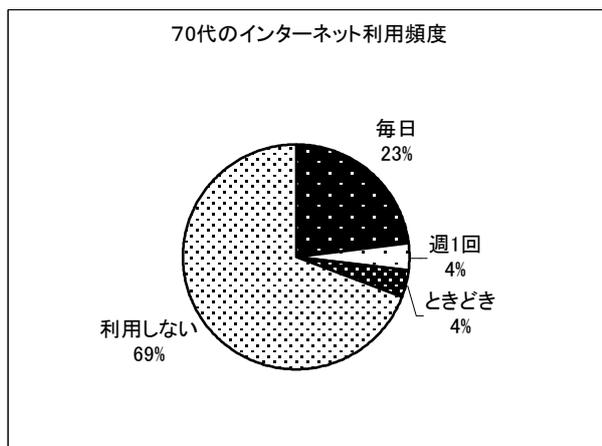
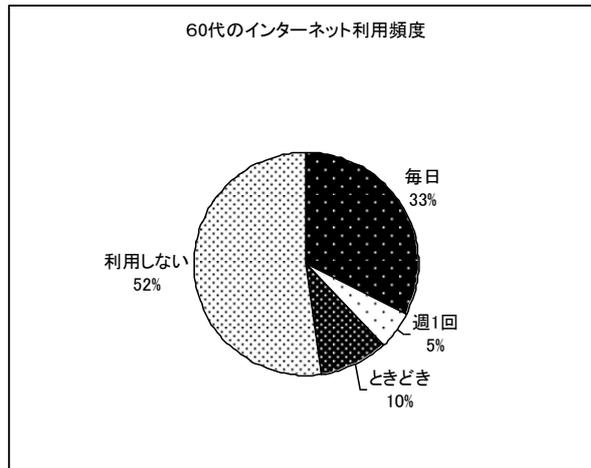
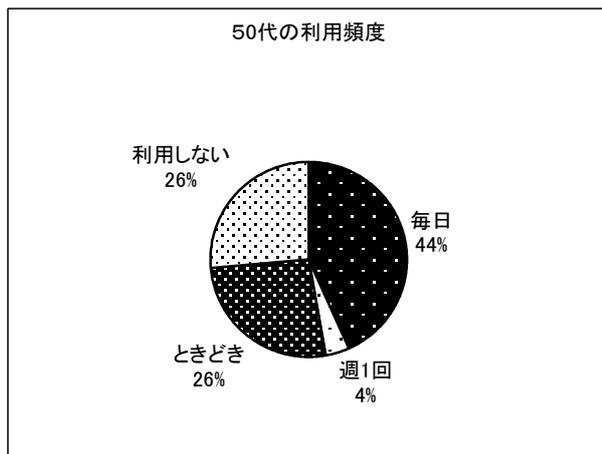
図書館利用者の中でも、図書館のホームページの存在を知らない方が全体の70%近くもいることが分かった。この質問項目は18年度のアンケートにはなかったものである。また、(2)『図書館HPの図書検索システムの利用について』からはHPの検索システムを「利用したことがない」が半数に達している。これは予約機能がないことも関係していると考えられるので、今年度の情報システムの入替に伴う予約機能を追加することで今後数値の改善が見込まれるであろう。なお現在のところ、インターネット予約の実施は来年度当初からを予定している。

図書館HPの認知度の低さを改善するためにも、予約システムの導入を今後利用者へアピールしていきたい。

6 普段のインターネットの利用について（図書館外）

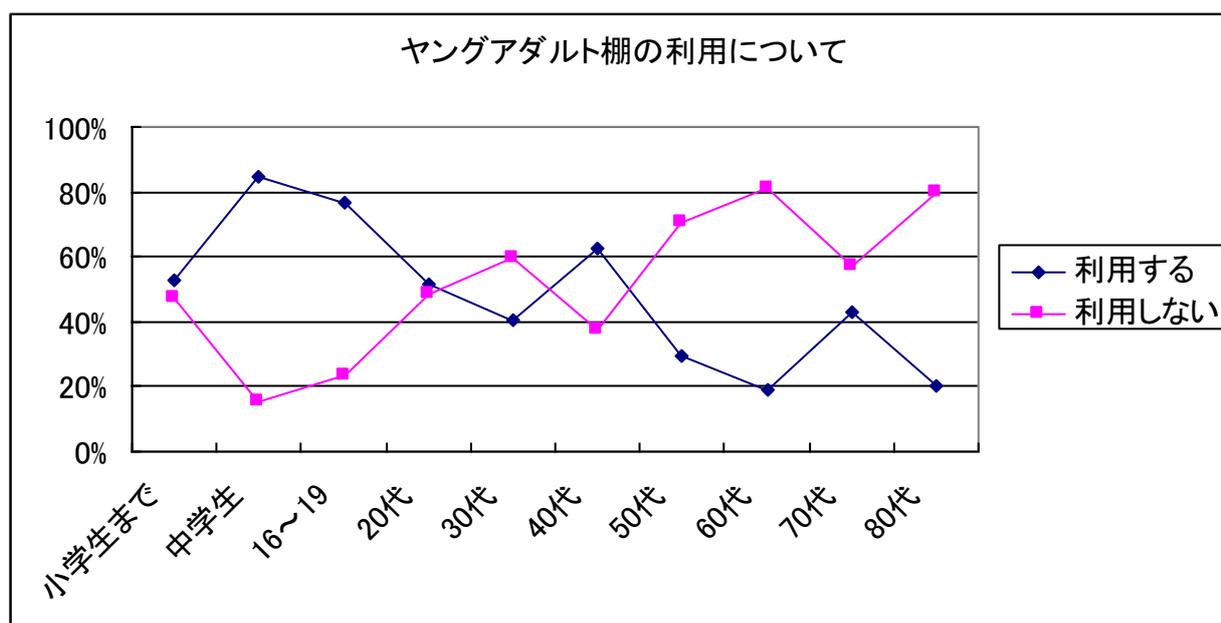
この項目については年代別の差異が認められたので、分けてグラフを作成した。





インターネットを利用しない層は50代から増え始め、60代から70代にかけては急激に増えている。ただ毎日利用する層も確実に存在することも確かである。今後もHPが高齢者が利用しやすいように気をつけていきたい。

7 中学生や高校生向けの読み物やその他の本を集めた棚を利用するか。



中学生から 16～19 の年代はターゲットゾーンそのものだが、40 代の利用希望が存在することが分かった。これは自分の子どものために本を選びたいという親の回答と予想される。自由意見の項目にもそのような声が散見された。70 代以上はサンプル数が少ないため、個人の意見が反映されてしまったものである。

8 ご意見・ご要望の種類（自由記入欄より）

アンケートの全て（800 枚）のうち、247 名の方の記入があった。（約 30%）内容の内訳は以下の表の通りである。

要望の種類	人数
蔵書・配架	87
ハード面(設備・環境)	58
インターネット予約	14
開館時間	25
CD/DVD の貸出	11
ソフト面(職員・行事)	24
その他ご意見	28
合計	247

表 7 意見の内容別内訳